

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	自然災害リスク削減（防災）	■募集人数（人）	1
■学位	修士／博士		
■担当部署名	地球環境部 防災グループ		
■募集の背景			
<p>2015年第3回国連防災世界会議において「仙台防災枠組（2015-2030）」が採択された。同枠組は各国が実施すべき4つの優先行動を定めており、JICAは効果的な災害リスク削減の観点から、優先行動3「強靭性のための災害リスク削減のための投資」（事前防災投資）を最重要と考えており、その対象は自然災害（地震、洪水、土砂災害、暴風・暴雨等）である。特に、JICAの協力対象国の政府の災害リスクガバナンスは未だ十分でない場合が多く、災害リスク削減を具体化する事業を計画・実施・推進していくことが肝要である。また、2030年以降のポスト仙台防災枠組に係る国際社会での議論・交渉を見据え、JICAが実施するODA事業からの経験や教訓を体系的に整理・分析し、それを日本政府や国際社会に発信・交渉する必要性が高まる時期となっていく。そのためには、災害リスク削減（防災）に係る学術的・実務的な高度な知見を有する人材が不可欠である状況であることから、本募集を行う。</p>			
■本事業を通じて育成が期待される人材像			
<p>本ポストでは、JICA専門家等の経験者が、本事業を通じて、自然災害リスクの削減に関係する学位を取得することにより、高度な学術的・実務的な知見を体得し、その後の事前防災投資の拡大に係るJICA事業の形成・実施監理経験も蓄積しつつ、開発途上国並びに国際機関及ドナー機関に対して、政策提言や計画策定を実現させることができる人材が育成されることを期待する。</p>			
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）			
<p>Risk, Disaster and Resilience MSc, University College London, Risk Analysis, Disasters and Resilience MSc, Kings College London the Risk Masters with the Geography Department, Durham University</p>			
■参考情報			
<p>JICAグローバルアジェンダ「防災・復興を通じた災害リスク削減」リーフレット： https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/ku57pq00002cy5n0-att/disaster.pdf JICA-NET教材（JICAホームページ内）：https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/more.html 仙台防災枠組（PreventionWeb内）：https://www.preventionweb.net/files/43291_sendaiframeworkfordrren.pdf</p>			
■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間			
<p>学位取得後に1～2年程度JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定しています（※面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合がございます）。</p>			
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
望ましい	学士（理学または工学）（※それに準ずるものを含む）		
■備考・留意点			
<p>取得学位については、修士・博士不問。</p>			